

中川運河における事業概要について

(令和7年度版)

- ① 護岸の改良・補修について
- ② 中川運河東支線の覆砂事業について
- ③ プロムナード等の整備について
- ④ 管渠充填工事について

名古屋港管理組合

① 護岸の改良について

【目的】

昭和7年に全線開通した中川運河は、全長約8.2kmあり、兩岸護岸の総延長は16.5kmを超える。運河開削当時の石積み護岸が現在も残っていることから、適切に老朽化対策を行う。

【今年度の取り組み】

＜北幹線、北支線＞

- ・老朽化した石積み護岸を前出し護岸等とする改良工事



前出し護岸による護岸改良

【今後のスケジュール】

- ・今後も、護岸の老朽化状況や沿岸用地の土地利用状況を踏まえ、改良・補修工事を進めていく。

② 中川運河東支線の覆砂事業について

【目的】

中川運河東支線の貧酸素化、悪臭の発生を抑制し、水質改善を図ります。

【概要・今年度の取り組み】

○概要

中川運河東支線と松重船だまりの底泥を一部除去し、覆砂を行います。（令和3～8年度予定）



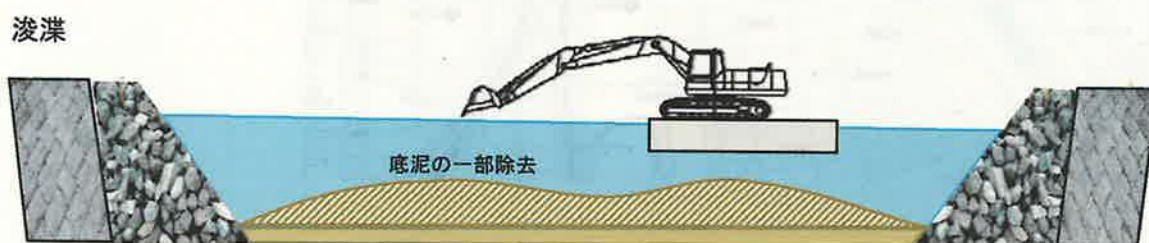
○今年度の取り組み

- ・覆砂の効果を検証するための水質等調査
（令和7年4月～令和8年3月 （1回/月））
- ・旧松重ポンプ所全面水域における底泥のダイオキシン類の対策検討

令和5年8月に覆砂工事前の底質調査を行ったところ、ダイオキシン類の環境基準値を上回りました。よって、有識者の助言を得て精密調査を行い、その結果は、すべての地点で環境基準値以下でした。

当初調査で環境基準値を上回った地点の対策について、引き続き有識者の助言を得ながら、令和6年度に対策範囲等をまとめ、令和7年度は引き続き対策方法を検討していきます。

（覆砂工事イメージ）



浚渫（重機での土砂の取り除き作業）を行い、底泥を一部除去します。
その際、臭気が発生することがあります。



重機で清浄な砂を投入し、底泥を砂で覆います。水深が浅くなり、運河中央部は水深2mとなります。

【今後のスケジュール】

令和8年度にダイオキシン類の対策と浚渫及び覆砂工事を行う予定です。

③ プロムナード等の整備について

【目的】

中川運河にぎわいゾーンにおいて、回遊性を高め、憩いとにぎわいのある空間の形成を図るため、プロムナード及び視点場の整備を進める。

【概要・今年度の取り組み】

○プロムナード整備

- ・前出し護岸の上部にプロムナード整備（約 440m）を行っている。
- ・北支線堀止緑地～広見憩いの杜間において、約 30m 整備を進める。

○視点場整備

- ・東支線の沿岸用地における未利用地で視点場整備を行っている。

【今後の予定】

○プロムナード整備

北支線 堀止緑地～広見憩いの杜間において、引き続き整備を進めていく。

○視点場整備

東支線の未利用地において整備を予定していく。

施工箇所図



プロムナード

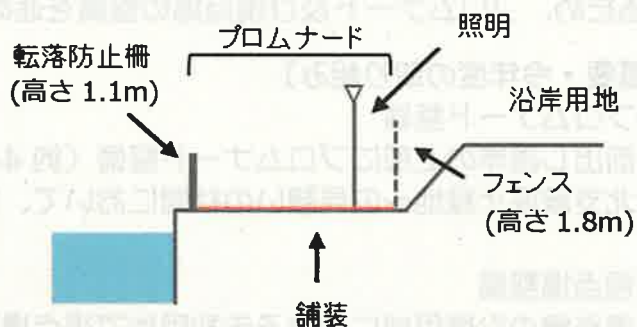


視点場

堀止緑地～広見憩いの杜間プロムナード



標準断面図



施設イメージ

舗装	転落防止柵
椅子	境界フェンス
照明	階段・スロープ

凡 例

..... プロムナード〔 整備箇所 〕
 既設

- ・治安対策として、夜間は閉鎖します。（開放時間（予定）：午前9時から午後5時）
- ・沿岸用地とプロムナードとの境界には侵入防止対策として、フェンスを設置します。
- ・椅子は浮浪者対策として、一人掛け用を設置します。
- ・照明は、沿岸用地側に配慮した構造のものを設置します。

④ 管渠充填工事について

【目的】

中川運河堀止地区から松重ポンプ所へ至る管渠の使用停止に伴い、安全を確保するため、管渠充填工事を行う。

【概要・今年度の取り組み】

- ・運河通、西日置町、柳堀町付近に埋設されている管渠約 1100m の内部を充填する。

○今年度の取り組み

- ・中川運河沿い : 約 150m (令和 7 年 4 月～令和 7 年 5 月)



工事期間中、地域の皆様方には工事箇所の通行止めに伴う迂回や、騒音等、ご不便・ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

【今後のスケジュール】

- ・残り約 260mの管渠充填工事を引き続き実施予定